

# 全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース1月号 (No.206)

2021年1月29日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 [gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

経営懇役員リレーエッセイ

## すすめ 広がれ 『核兵器禁止条約』

会長 石川幸枝 (広島・(福)愛児福祉会)

新年あけましておめでとうございます。  
先日は新春早々のセミナーにご参加いただきありがとうございます。

「児童福祉法 24 条 1 項」がコロナ禍の中でどれほど貴重なものであるかを伊藤周平先生からしっかり学び確認できたセミナーでした。

年末から年越しをしたのは、新型コロナウイルスの感染拡大。1月8日緊急事態宣言（地域を限定）が発せられましたが、このような事態を招いた責任や反省についての国からの意見表明が聞こえてきません。

保育は当たり前のように「開所」。「密にならない工夫も不可能な保育の基準の見直しもないまま」。私たちは、エッセンシャルワーカーとしての自覚を持ち保育をおこなっています。しかし、これだけ感染が広がっている中では、保育の実施は当たり前のことではなく、保育者の大変な苦労の中で保育が継続されているのだということ、国や自治体は深刻に受け止めてほしいものです。

コロナ問題に明け暮れた一年間とこれからの一年。特にコロナ収束の後の保育などじっくり考えていきたいものです。

私たちがコロナ対策に心血を注いでいる間にも、社会福祉法の改定が行われたり、安倍政権から菅政権に移行するや否や日本

学術会議の任命拒否問題が起こり、日本の民主主義が危険な状態であることが判明しました。国会議員による金権政治も横行しています。今年は総選挙の年ですが、私たちの選挙権がお金で蝕まれてしまっているのでしょうか。考えていきたいことが山積みです。

このような情勢のもとで、一つの希望ともいえる「核兵器廃止条約」が1月22日から世界で発効します。発効はするものの、唯一の被爆国である日本政府も核を持っている国もこの条約に背を向けている現状です。世界から核兵器禁止を実現する道は遠く、厳しい船出であるのは間違いありません。

今、広島や長崎だけでなく全国の若者たちが「すすめ核兵器禁止条約プロジェクト」を立ちあげて連日YouTubeで旺盛に発信しています。その中で活躍している最年少の高校生は、私が園長時代に在園していた卒園生です。彼は、このような活動に参加するきっかけについて「6歳の時の保育園の平和教育だった」と語っています。保育の仕事の深い意義を感じます。

子どもたちに「平和憲法を手渡したい！」は、今年も私の抱負です。

# どうする

## 保育士確保！？

### ～Home Page 活用編～

#### 経営懇役員会・調査研究部

都市部の保育士の人材不足は、地方にどんどんと広がりを見せています。派遣を頼りたくなくて、採用試験をしても応募者がおらず仕方なく派遣に頼る。また人材紹介会社に頼りたくなくても、もうそれしか方法はなく高い紹介料を出して保育士を確保せざるを得ない。そんな状況が蔓延しつつあります。

調査研究部では、人材確保のために何ができるか一例を紹介したいと思います。それはホームページ（以下HP）の充実です。これをやったらすぐに求人が来るとは限りませんが、やってみる価値はあると思います。

#### ●現状

まず、みなさんのHPでは、求人の要綱を貼るだけにはなっていませんか。採用を望む人たちは、情報を求めています。「どんな施設なのか」「どんな人たちが働いているのか」「仕事の内容はどんなのか」などです。そんな時、HPをみると「要綱」だけ載っていて「知りたいこと」が載っていないことがあります。採用を望んでいる人は知りたい情報がないと“不安”になり、他の施設のHPを覗いてしまい、そこに必要としている情報があれば、「採用試験や面談を考えてみようかな」とつながっていきます。折角、自分のところのHPを見てくださったのに、そのチャンスを採用へつなげたいと思いませんか。

#### ●どうすればいいの？

#### ポイントはここ！！

#### ◆キーワードは「見てわかる、わかりやすさ」

- ①求人の特設ページをつくる。「あなたのためのページですよ」感をかもします。
- ②できるだけ写真や絵で、大切なことは言葉で簡潔にする。視覚やイメージで訴える。
- ③働いてる人の表情がみえる写真が掲載されている。自分もこんな風楽しく働けるかなと思わせる。
- ④どんな施設か、わかりやすい写真があるほうが良い。職場の雰囲気や全体像がつかめる。安心感をもってもらおう。
- ⑤勤務の状況（仕事の1日の流れ）がわかりやすい。難しくなくこんな仕事をして利用者と楽しめるのかとここでも視覚で！
- ⑥職種・雇用形態によって仕事内容は何をするか、わかりやすく。私だったら何ができるだろう、私でもここなら働けるかとも思ってもらえるように。
- ⑦「よくある質問」にも安心感がある。「2～3年目の先輩がわからないことや仕事のやり方を教えてくれる。」「結婚しても働いているか。」など聞きにくいことを知ることができ、安心感が伝わる。
- ⑧就労場所・職種・雇用形態などから検索ができ、ネットで応募ができる。今は、電話をかけて申込はハードルが高い。すぐにアクセスできることが大切。その時は、条件が合わなくても関係を残しておくことで必要な時につながるができる。

#### ◆上記のポイントをふまえて、みなさんも視覚やイメージアクセスのしやすさを感じましょう

ここまでポイントは、調査研究部が、大阪・社会福祉法人とんぼ福祉会を取材させていただい

て学んだことです。ホームページ URL は下記の通りです。<http://www.tonbofukushikai.or.jp/>

皆さんも一度アクセスしてみてください。上記のことが文字より、視覚やイメージでわかりますよ（写真は、HP の採用情報コーナー）。



**見て感じてもらって HP の変更役に役立ててください。ただし、注意点がひとつ。とんぼ福祉会に問合せ、質問はしないでくださいね。**

その代わりといっはは何ですが、調査研究部がとんぼ福祉会に質問をしたので、下記のインタビューを参考にしてください。

## ●とんぼ福祉会へのインタビュー

### 《とんぼ福祉会の概要》

- ・作業所 2 箇所・生活支援センター 2 箇所・放課後デイサービスなどの事業を実施
- ・利用者：353 名・職員：164 名

### ◆HP の刷新でどんな効果が？

- ・応募者は増えた。（週 10 件ほどの申込があり、2～3割が面接。毎月5件くらい面接している状況。）
- ・法人の HP から、求人は外部のページのとびようになっている。
- ・バイトルと契約していて、応募者があると、各施設の幹部 15 人に同時にメールが入るようになっている。そのことで、各施設幹部に求人がどう動いているのかがわかり、「求人＝育成・定着」という意識が高まった。

### ◆どんな人を募集？

- ・障害者施設なので、非常勤の採用が多い。（正規職員は、非常勤から昇格する人が多い。）
- ・どんな人材が必要なのか。（若い人・シニアが活躍などもヒットする。）がはっきりするとヒットするらしい。
- ・「給与の日払いあり」にすると、ヒットすることが多いが、職种的に長く働いて欲しいので「日払い」はしていない。

### ◆ここまでの経緯は？

- ・人材確保には経費も苦勞もしてきたので、随分勉強した。（マイナビの無料セミナーなど）一般の求人会社に来てもらって学習もした。
- ・求人に年間 1,260 万円の費用がかかっていたが、現在は 700 万円になった。600 万円に下げていきたい。
- ・求人ページ作成に 130 万円。このサイトの運営費に毎月 7 万円の経費を払っている。（ディスポンスがよいので、選んでいる。）

### ◆人材確保をどのように実現？

- ・公的求人で、経費をかけずに人材確保していきたい。が、現実はかなり厳しい。
- ・派遣会社に紹介料を払うのは、悔しい。

## ●まとめ

とんぼ福祉会は、障害者施設です。高齢施設でも同様に保育施設が人材不足になる以前から人材不足に直面していろいろな工夫をされています。保育分野の 1 法人 1 施設で運営されている施設で求人費用 1260 万円という額はだせません。しかし都心部では紹介料や派遣費用で 200～300 万円出している保育園もあります。まずはできるところから始めてみませんか。

ただ、HP も凝ったものをするプロの力を借りて何十万円もしますから、自分たちの身の丈に合った方法を交流しながら探りたいですね。

# 保育をめぐる情勢

## ●退職手当共済公費助成を継続 / 社会保障審議会

1月25日に、第26回社会保障審議会福祉部会が開催されました。保育分野の退職手当共済公費助成についても検討され、公費助成はいったん継続し、あらためて公費助成のあり方を検討して2024年度までに結論を出す、と正式に決定され

ました。

しかしながら、これは結論が先延ばしにされただけです。退職共済の公費助成が廃止されることになれば、保育士の処遇改善どころか後退です。保育士不足を抜本的に改善するためにも、退職共済公費助成の継続・拡充も含めて、処遇改善が必要であることを、引き続き国・自治体に訴える必要があります。

↓会議資料より(下線は編集部)。他の資料は同封。

### 社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の対応(案)

#### 平成29年度の対応

社会福祉法等の一部を改正する法律(平成28年3月31日法律第21号) 附則で、

「平成29年度までに総合的な子ども・子育て支援の実施状況を勘案し、機構に対する国の財政措置(児童福祉法第三十九条第一項に規定する保育所及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成十八年法律第七十七号)第二条第七項に規定する幼保連携型認定こども園の職員に係る退職手当金の支給に要する費用に関するものに限る。)の見直しについて検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。」

とされていたが、社会保障審議会福祉部会において、「平成29年度までの待機児童解消加速化プランに加え、平成29年6月に公表された「子育て安心プラン」により、遅くとも平成32年度末までの3年間で全国の待機児童を解消するための取組みが行われていることを踏まえ、保育所等に対する公費助成を一旦継続しつつ、公費助成の在り方について更に検討を加え、平成32年度までに改めて結論を得る。」こととされた。

#### 今後の方針

○ 令和2年12月に公表された「新子育て安心プラン」により、待機児童の解消を目指し、令和6年度末までの4年間で保育の受け皿を更に整備するための取組みが行われていくことから、保育所等に対する公費助成を一旦継続しつつ、公費助成の在り方について、他の経営主体とのイコールフットingの観点等も踏まえて、更に検討を加え、令和6年度までに改めて結論を得ることとしてはどうか。

#### 全世代型社会保障改革の方針(令和2年12月15日 閣議決定) 抜粋

##### 第2章 少子化対策

##### 2. 待機児童の解消

政権交代以来、72万人の保育の受け皿を整備し、今年の待機児童は、調査開始以来、最少の1万2千人となった。待機児童の解消を目指し、女性の就業率の上昇を踏まえた保育の受け皿整備、幼稚園やベビーシッターを含めた地域の子育て資源の活用を進めるため、年末までに「新子育て安心プラン」を取りまとめる。

具体的には、安定的な財源を確保しながら、令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)末までの4年間で約14万人分の保育の受け皿を整備する。

1

# この間の活動

## ●リモート学習会第2弾

1月12日(火)に、リモート学習会第2弾「コロナ禍と保育政策—改善課題・運動」として、伊藤周平さんの講演と保育条件の改善を求める活動についての実践報告を行ないました。

当日は、Zoom ウェビナーを通じて、約140か所で接続・視聴されました。録画配信(YouTube)

の希望も約30名から寄せられ、合計で181名の参加となりました。

伊藤さんは「コロナ禍で明らかになった社会保障の脆弱さと保育政策の課題」をテーマに講演しました。コロナ禍で、もともとあった制度の課題や弱点があぶりだされました。このことは、保育や福祉以外の分野にも共通しています。同時に、保育分野においては、児童福祉法24条1項を運



動の力で残してきたことの意味が、このコロナ禍で明らかになった、と伊藤さんは強調しました。

今、私たちがコロナ禍で経験していることをふまえ、保育・福祉は公的責任で保障すべきであることを、あらためて確認し、公的責任を広げていく方向へと運動を広げることが保育運動に関わる関係者の課題であるとまとめました。

実践報告では、経営懇役員会・調査研究部の岡さんからキャリアアップ研修についてQ&A形式で整理した資料をもとに解説がありました(資料は本ニュース12月号に掲載)。自治体に向けた運動として、神奈川県鎌倉市と福岡・(福)紅葉会のとりくみが報告されました(下図)。

#### アンケートより . . . . .

##### ◆伊藤さんの講演について

- 国のコロナ対策は納得できない。補償なき自粛要請、医療・介護は崩壊状態。公的保育制度を守っていかねばと、伊藤先生の話からぐっと伝わってきました。(群馬・主任)
- 「社会福祉の制度は保育運動が引っ張っている」「児童福祉法24条1項の公的責任を守ること」これこそ私たちの使命!と心に響いた(静岡・園長)
- 24条1項で保育現場の雇用が守られたことは私

たちの運動の成果として確認したい。一方で社会保障の削減、あらためて運動の必要性を感じた。私たちの職場は私たちが守っていく、その視点をこれからも持ちたい。(愛知・園長)

##### ◆実践報告について

- どれも、「目からウロコ」の報告だった
- 短時間だったのでもう少し詳しく聞きたい
- 福岡の報告は、副食費を公的責任と結びつけて考え、訴えているという点で、その着眼点がすばらしいなと思った。副食費が保育料から外されたときは矛盾を感じていたが、時間経過とともにその気持ちが薄らいでいたと反省。(愛知・園長)
- 自分が矛盾に思うことから声をあげていけばいいんだということがわかった。自分の要求や矛盾から出発し自分たちだからこそできる運動を、全国で展開していくことが必要。一人ひとりが主体者となれる運動をつくっていけるといいな。(主任)
- キャリアアップ研修、制度がよく変わるのでQ&A形式で話していただき、とても分かりやすかった。3月に出る方針を注視したい。(大阪・総主任)
- PCR検査の要望を出したが返答がないまま。あきらめず、園長会からの要望書を出し続け、市長との懇談も再開したいと思った。(兵庫・園長)
- 鎌倉の要望書は参考になった。周りの園とも協力して自治体に声をあげたい。(福岡・事務長)

図：当日の資料より(鎌倉)

### 自治体への働きかけの重要性

- 鎌倉市は、政令市の横浜市と接しており、保育所に対する補助金額でも大幅な差=子ども達の処遇に影響
- 新制度移行に伴い県の補助金の激変、県は予算説明会も開催しなくなっている
- 待機児解消を公約のトップに掲げて当選した市長、今は大型開発と市役所移転子どもの施策は後方に
- 基礎自治体の行政に具体的な保育施策を要望
- 保育行政を担当する保育課の職員に子ども達の発達保障の視点に立って貰う
- 財政当局からの攻撃に対し反撃出来る様に
- 基礎的なデータも含めて示すことが必要
- 毎年の予算要望や時々の政策課題を繰り返し提起して、粘り強く担当課に提起
- 担当課職員が、子どもの視点で働いて貰うための活動が重要!
- 従来の最低基準の改善に加えて、コロナ禍で明らかになった施設の広さや集団の規模、クラスの人数の基準の改善を求める現場からの声が益々重要に!



## ●PCR 検査実施を求める要望書、71 園の賛同を得て県に提出 / 神奈川経営研

神奈川民間保育園経営研究会は、神奈川県知事に、「保育従事者・利用者の定期的な PCR 検査の実施を求める要請書」を、1 月 25 日提出しました（同封資料参照）。

神奈川県が所管する保育園（約 400 園）に賛同を呼びかけたところ、71 園から賛同が寄せられ、賛同園一覧と要望をまとめて県に届けました。

要望事項は下記の 2 点です。

- 1, 新型コロナウイルス感染症の最大の特徴である、「無症状の感染者」を見つけ隔離し感染拡大を防ぐために、保育従事者・利用者への定期

的な PCR 検査を神奈川県の責任で実施してください。

- 2, 国に対して、実施のための費用を全額負担するように求めてください。

## ●全国会議、国に要望提出

社会福祉経営全国会議は、1 月 26 日付で国に対し、社会福祉施設等における新型コロナウイルス 第三波の深刻な影響を是正する検査体制等の拡充を求める要望書を提出しました。PCR 検査の実施やワクチン接種、医療体制の拡充等について、要望しています（同封資料参照）。

## コロナ対策情報

### 冬の換気について

#### 清水宣明さん(愛知県立大学)

中京テレビと愛知県立芸術大学と協力して換気実験映像を作成しました。アドバイスとコメントをさせていただきました。

<https://locipo.jp/article/f4755623-c193-4038-93c6-1111f407da02>

(※1 月 21 日の「キャッチ！」の中で紹介されました)



#### ●実験の様子

部屋が小さければ、窓を 15 センチほど開けて温度差で換気が可能ですが、部屋が少し大きめになると、なかなかうまくいきませんので、サーキュレーターで空気の通り道を作りました。

実は、使用したデジタル温度計の感度が低くて反応が遅く、窓開全開換気では、実際にはもっと室温が下がっています。外気温が 8℃だったので、それに近くなり凍えるようでした。でも、リアルタイムのその温度計を写さないとウソになってしまうので、そのままの映像にしました。

#### ●冬の換気のポイント

窓はそれほど大きく開ける必要はなく、むしろ 15~20 センチ にすると、効率よく空気が出入り するようです。そして、暖房と暖気損失が釣り合い、室温変化を小さく抑えることができます。

参考にさせていただきますと幸いです。

# コロナ禍での 保育

「子どもに必要なかかわりを大切に、  
でも感染リスクは極力避ける」

東京・(福) 陽光会  
練馬区立北町保育園 高田礼子

今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から3か月間登園自粛が続き、7月からようやく通常保育がスタートしました。子どもたちは久しぶりに友達に会えたのが嬉しくて身体をはずませ、会話も止まりません。毎日元気で過ごせることの大切さを感じました。

北町保育園では「練馬区の保育園における感染拡大防止のためのガイドライン」に沿ってどう対策するか、「子どもにとって必要なかかわりを大切にすることと、感染リスクを極力避けることの両立を図っていくことを追求する」と言う視点で、日々の保育から行事のことなどまで、職員間で細かく確認していきました。

具体的には、登園時に手指の消毒をする、子どもと職員の毎日の健康管理、子どもが手を触れる玩具と園庭の遊具の消毒を毎日行う、「三密」を避けるために、部屋の換気を常に行い、食事は1テーブルに3人まで、お昼寝は、頭が交互になるように間隔をあけて布団を敷き、乳児の水遊びは他クラスとの遊具の共有を避け、プールは一日一クラスで半分ずつ(7~8名)入るようにし、歌は子ども同士手を広げて間隔をとって歌う、などです。

当初計画していた行事は、どう対策したら実施できるかと、今も検討を重ねています。8月末に行った「縁日」では、4、5歳児がお店の人になり、参加するクラスを2歳児からとして、各クラス3グループに分け、密にならないように時間設定をしました。くじ引きのお店では、入り口で「シュッシュしてください」と消毒する担当もいて、今の生活様式をすぐに取り入れる姿に感心しました。お店番の役割を發揮することができた4.5歳児が、お迎えに来た保護者に「今日ね、縁日やったんだー、楽しかった!」と話す姿を見て、大人の配慮で子どもたちの成長する場をつくれるように、今後も追及していきたいと思っています。



縁日のくじ引き。「手を出してください〜い。シュッシュします!」

「コロナ禍での保育」原稿募集しています。字数は、1000~1200字程度です。お待ちしております。



# お知らせ

## ●経営懇リモート学習会

◆第3弾 2021年2月21日(日)

13:30~16:30

コロナ禍の中の保育園 今 大切にしたいこと

講師：清水玲子さん

(元帝京大学・保育実践研究会代表)

報告：保護者と職員で子どもによりよい保育を

埼玉・(福)くるみ会

職員間での合意づくりーコロナ対策の経験から

福岡・(福)頓野児童福祉会

参加費：3,000円(会員外5,000円)

申込締切：2月12日

※締切以降の申込みは、メールのみ受付ます。

資料は各自で印刷です。ご了承下さい。

[gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

## ●オンライン企画ご紹介

### ▲保育研究所オンラインセミナー

2021年3月7日(土) 13:30~16:00

### 保育と療育をつなぐ視点とこれからの課題

講師：池添素さん(NPO福祉広場)、中村尚子さん(全国障害者問題研究会)、白石正久さん(障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会代表)

### ▲権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会企画

2021年2月9日(火) 10:00~12:00

### 権利としての福祉を守ろう!オンライン学習会ー災害・コロナ危機等の緊急時でも対応

できる社会保障・社会福祉の構築を平時から! 講演/『コロナ危機における社会保障・社会福祉の動向』ー全世代型社会保障改革・報酬改定・新子育て安心プランー

講師 石倉康次さん〔立命館大学教授〕

## コロナのなかでの

## わたしのストレス解消法

国際宇宙ステーション・きぼうが肉眼で観測できた11月22日・・・

「野口さん、がんばれー」と、

思いきり手を振った!

(奈良・看護師)

### 【経営懇・活動日誌】1月

- 1月6日(水)経営懇事務局会議。
- 1月12日(火)リモート学習会第2弾開催。講師は伊藤周平さん。鹿児島大学の研究室とつないで講演を聞く。実践報告として、調査研究部、鎌倉市のとりくみ、福岡・紅葉会のとりくみを報告。約140か所で視聴(録画配信の希望者が約30名)。
- 1月16日(土)保育プラザを支える会企画「今、語り継ぎたい平和への思い」。東京大空襲の経験者の証言を聞く。経営懇会員園(東京・練馬区立北町保育園)が実践報告。
- 1月18日(月)三役会(Zoom)。
- 1月20日(水)退職手当共済公費助成継続・拡充を求める経営者賛同署名を提出。前項47都道府県より3185名の賛同を得る。
- 1月25日(月)社会保障審議会福祉部会で公費助成継続確認。

### 同封資料

- ①情勢資料(他団体の要望書含む)
- ②リモート学習会第3弾(2月21日)
- ③保育研究所オンラインセミナー(3月7日)
- ④権利としての福祉を守ろう!オンライン学習会(2月9日)